

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	Grabity LiFE		
○保護者評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様に当事務所の支援方針を深くご理解いただいているため連絡連携が取りやすい事。	保護者様からの相談に迅速丁寧に対応させていただき、月に一度家庭連携の場を設けて保護者様と話す機会を設けている。	連絡可能時間帯を分かりやすく提示し周知することでより円滑な連絡体制が整えられると考えている。
2	各個人に合わせた活動プログラムの作成と実施。	子どもたちに取り組みさせるのではなく、子どもたちが取り組みたいものを提示し取り組んでいる。また、その活動の中で子どもたちの生活力が向上するよう対応をしている。	プログラムレポーターの充実と個人で行うものだけでなく他利用者で行い互いに成長していけるような活動もプログラム内に取り入れていきたい。
3	放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が適切に作成され、その計画に基づいた支援が確実に実施されている。	子どもたちが事業所に通うことを楽しみにしているという結果から、活動内容が楽しく、魅力的であることが意識されている。	子どもにわかりやすい環境づくりや、障碍特性に応じたバリアフリー対応を進め、誰もが安心して過ごせる施設づくりを目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での取り組みの発信力が弱い。	今回のアンケートからも避難訓練の実施への認知が少ないことが分かった。そこから事業所内での取り組みについて発信力が弱く保護者様の不安や不信につながる恐れがあると考えている。	運用しているSNSアカウントでの活動を初めとする事業所内取り組みを発信していくとともに、保護者様にSNSアカウントを認知してもらえるよう通知する。
2	移転してから事業所内の部屋や用具について知らない、見たことがない保護者様が増えた。	昨年1月に移転してから保護者様に事業所内の見学や写真の提示等を怠っていた。子どもたちが毎日活動している場を知らない事は不安に繋がる可能性が大いにあるため即日対応したいと考えている。	上記に記載したSNSアカウントを周知したのち部屋の写真を発信することで事業所の雰囲気を知っていただけたらと思う。また、お迎えに来ていただいた時に事業所内を見学していただき事業所の雰囲気を知ってもらう等保護者様に負担にならないような政策を思考し実施していく。
3	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の工夫が不十分で、必要な情報が適切に共有されていない場合がある。	保護者様や子どもとの情報共有の場や方法が体系化されておらず、継続的なコミュニケーションが課題となっている。	定期的な面談や連絡帳、ニュースレターなどを活用して、子どもや保護者との情報共有を強化する。また、相談しやすい環境づくりも重要。